

広報 らくじゅ

— 第 14 号 —



発行：社会福祉法人楽寿会

〒421-2115 静岡県静岡市葵区与左衛門新田74-6

TEL(054) 296-1111(代表) / FAX(054) 296-1113

URL <http://www.rakuju.or.jp>

楽寿の園高齢者総合福祉エリア

◇自己実現をめざして！楽寿の園秋の大運動会◇



トップでゴール！（於：楽寿の園コミュニティガーデン けやきの広場）



元気一杯 準備体操！



ねらいを定めて、玉入れ競技



接戦！パン食い競争



親睦の輪を囲んで



職員も熱中、パン食い競争

～大運動会に象徴される楽寿会の理念と実践～

楽寿会の掲げる「誓約」は「私達は楽寿会の職員として高齢者への「尊厳」を理念とし、優しさの限りを尽くしてこの場所を真の楽園とすることを誓います」と宣言しています。入所者や利用者の方々がたとえ心身にさまざまな課題があっても、残存能力を引き出し、個々の目標を実現するために、各種専門職（社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、精神保健福祉士、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、音楽療法士、歯科衛生士、認知症ケア専門士等）が協働し、お一人おひとりのケアプランに基づき介護保険法の規定する自立支援の視座に重点を置き、利用者の方々の尊厳をお守りするとともに自己実現が図れるよう地域包括ケアシステムとも連携し日々総力を上げて取り組んでいます。又、一方、健康上の理由で運動会に参加出来ない方々も多くお出でになりますが、今後運動会に参加して頂くことを目標に、少しでも健康を回復して頂けるよう全職員が各々の専門性を十二分に発揮して奮励努力して参ります。今回の大運動会も楽寿会の「理念」が反映された大変有意義なものとなりました。

介護老人福祉施設 楽 寿 の 園

楽寿の園は、高齢者総合福祉エリアの基幹施設であり、アカデミックで診療所を併設した最新鋭の高機能・高規格特養です。楽寿の園では、高齢者への尊厳を理念とし、優しさの限りを尽くして、お一人おひとりの自己実現の為、個別の施設サービス計画に基づく最善の介護福祉サービスの提供に努めています。ご利用者の皆様にはゆったりとした癒しの空間で、心豊かな生活をお送りいただいています。高い専門性をもった介護、医療、福祉のスペシャリストがご利用者様の自立のお手伝いをいたします。安倍川のほとりの豊かな自然を眺めながら、和やかなひとときをお過ごしいただいています。



本館中央ホール



楽寿の園診療所に設置されているCT

食事について

楽寿の園の厨房では長期入所、ショートステイ、通所サービス、ケアハウスと合わせて一日当たり 800 食程の食事を作り、ご利用者へ提供しています。

1、原材料・調理法

原材料は、野菜や肉、魚など生鮮食品につきましては鮮度に特にこだわって使用しています。また、原産地を書面にて確認し、安全なものだけを使用しています。

調理法に真空調理を取り入れ、効率よく衛生管理も徹底し、安心安全な状態で美味しい食事が提供できるよう努力しています。

2、献立作成

おせち料理、お花見弁当など行事食の献立や毎月のお誕生日を祝うお寿司の献立、季節に応じた食材を使った献立等、ご入所者の方々の嗜好にも合わせたバラエティに富んだものを考えています。

月一回の選択メニュー食や年3回のバイキング食など食事を楽しみ喜んでいただけるよう工夫もしています。

3、食事形態

普通食を基本にキザミ食、極キザミ食、軟菜食、ミキサー食など個々の健康状態や嚥下、咀嚼能力、麻痺の有無などを考慮した切り方・ゆで方の工夫、むせやすい方にはトロミ剤を使用するなどきめ細やかな対応をしています。

また、嚥下食として一部ソフト食を導入し、ミキサー食のようなドロドロ状ではなく、ゲル化剤を使用してムースやババロアのような食感で、形があり、極キザミ食より誤嚥の危険が少ない食事形態のものを提供しています。安定したトロミもついており、安心して召し上がっていただいています。

糖尿病食や減塩食など医師の指示のもとに療養食も提供しています。

4、栄養ケアマネジメント

高齢者の日常的な営みである「食べること」の意義を尊重し、多職種協働で適切な栄養ケアを個別に提供しています。

ご本人様、ご家族様からの食に対する意向を伺い、管理栄養士が中心となり、栄養ケア計画の原案を作成し、多職種で定期的に見直し、検討して実施しています。



お誕生会の献立（ちらし寿司）



人気メニューのひとつ、ラーメン

短期入所生活介護（ショートステイ）

ご自宅でお年寄りの介護にあたるご家族様の介護疲れ等ご負担を少しでも軽減して頂く為に、短期間入所していただき、ご家族様に代わって介護いたします。ご希望ご不明な点につきましては、どうぞお気軽に楽寿の園までお問い合わせください。

☆☆☆ご利用者のご家族様より、ショートステイ及びデイサービスをご利用いただいたの感想を頂戴いたしましたので、ご紹介させていただきます。

『ご家族様の声』（サービス利用で充実した毎日）

楽寿の園には、平成 18 年からデイサービスでお世話になっています。「出掛ける」という事に徐々に慣れ、平成 23 年から月 1 回 1 泊 2 日のショートステイ、最近では月 2 回 3 泊 4 日へと様子を見ながら泊まりの回数を増やし、週 5 日のデイサービスと併せて充実した毎日を過ごさせて頂いています。



佐藤 富代様

母は大正 8 年生まれで 94 歳という高齢である事と、平成 18 年に腸の手術をしていた事もあり、ショートステイを利用させて頂くようになるまでは心配もあったのですが、初めてお願いする時に、園長先生を始め、各スタッフの方々のきめ細やかな対応にまず驚き、それから深く感謝致しました。入所前に家族が記入する利用時確認票は看護師、リハビリの方々と、たくさんの専門の方がきめ細かく見て下さっている事が分かります。多くの利用者さんが集まる中でも「個」の対応をして下さるからこそ、母も快適な生活を送れているのだと思います。又、ケアマネジャーの方の聞き取りや様々な提案も含め、皆様のサポートは直接的な利用者である母だけでなくその後ろにある家族の存在まで見て下さっていると感じられ、自分達だけでは緊張が続く介護生活の中で救われる思いが致しました。

母には楽寿の園の皆様にお世話になりながら元気に過ごしてくれる事を願っております。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

利用料金について

当施設の介護保険適用部分のサービスに際し、ご利用者様に負担して頂く利用料金は、国の制度に基づき原則として「基本料金の 1 割」、「当施設が定めた食費及び居住費」の負担額となっています。その他、特別な食事の提供に要する費用、理美容代、その他の日常生活において個別に必要とされるものの実費（日常生活費）は各自でご負担頂きます。例えば、要介護 3 の人が介護老人福祉施設楽寿の園に入所した場合、1 ヶ月の自己負担の目安はおおよ次のとおりです。 ※この他に日常生活費（実費）が必要です。

◎多床室を利用した場合

利用者負担段階	施設サービス費の1割	居 住 費	食 費	合 計
1(生活保護受給者)	15,000	0	10,000	25,000
1(老齢福祉年金受給者)	27,216	0	10,000	37,216
2	27,216	10,000	12,000	49,216
3	27,216	10,000	20,000	57,216
4	27,216	10,000	42,000	79,216

※ 所得の低い方については、利用者負担段階により「負担限度額」が適用されますので、食費と居住費が軽減されます。また更に、「社会福祉法人の減免」の対象者として認定されると、料金の一部を楽寿の園と市町村で負担しますので、どなたでも安心してご利用いただけます。

◎従来型個室を利用した場合

利用者負担段階	施設サービス費の1割	居 住 費	食 費	合 計
1(生活保護受給者)	15,000	10,000	10,000	35,000
1(老齢福祉年金受給者)	25,584	10,000	10,000	45,584
2	25,584	13,000	12,000	50,584
3	25,584	25,000	20,000	70,584
4	25,584	35,000	42,000	102,584

※ 看取り介護を行った場合には、死亡日 1280 単位、死亡日の前日、前々日 680 単位、死亡日より前 4 ～ 30 日 80 単位（1 日につき）が加算されます。

◎ユニット型個室を利用した場合

利用者負担段階	施設サービス費の1割	居 住 費	食 費	合 計
1(生活保護受給者)	15,000	25,000	10,000	50,000
1(老齢福祉年金受給者)	27,825	25,000	10,000	62,825
2	27,825	25,000	12,000	64,825
3	27,825	40,000	20,000	87,825
4	27,825	60,000	42,000	129,825

※ 看取り介護のために、居室移動をした場合は、移動後の居室の居住費を負担していただきます。

ケアハウス サンライフらくじゅ

ケアハウス・サンライフらくじゅは、老人福祉法で規定された施設（軽費老人ホームA型）で、全国第1号として建設されました。

ケアハウスは、60歳以上の日々の生活に不安があって炊事ができない程度の健康状態の方が入居し、バリアフリーの住まいで、管理栄養士が献立した、それぞれの健康状態にあった①3食を提供し、又、②生活相談、③入浴の準備、④緊急急病時の対応、⑤ホームヘルプサービス等の居宅サービスの導入調整、⑥健康管理等の基本的なサービスの提供を行い、介護予防に向けた自立生活を支援するための住まいです。サンライフらくじゅは、楽寿の園高齢者総合福祉エリアの中に位置し、併設特養楽寿の園をはじめ楽寿の園診療所、介護老人保健施設楽寿、楽寿会が実施する様々な在宅福祉サービスと政策的に連携し、その価値を高めています。サンライフらくじゅは、全国第1号のモデル事業として建設されたので、利用料には一時金が無く、敷金(退所時に返金あり)として、単身者の部屋が30万円、夫婦部屋が50万円と日本一低廉な料金です。又、月々の平均利用料は、食費、家賃、光熱水費等合わせて平均約7～8万円程度となっています。



サンライフらくじゅでは、施設長、副施設長、生活相談員、介護支援専門員、主任訪問介護員、看護師、管理栄養士などが出席し、毎月「入居者との話し合い」や隔週「ケース検討会」を行い、更なるサービスの向上を図っています。また、音楽療法士による音楽教室、理学療法士等による健康リハビリ体操、ケアハウス独自でも毎月様々なお楽しみを企画し、皆様の生活をより豊かにするために取り組んでおります。

◆毎日の生活を支えます



ご入居者の皆様との話し合い。皆様からのご意見を日常に反映します。



ケース検討会。個々の生活を多職種協働でお支えます。



健康リハビリ。転倒防止の身体づくり。

◆お楽しみ企画 満載です



けやきの広場のしだれ桜。喫茶らくじゅで茶和会あとのお花見です。



心も体もリフレッシュ。楽しい秋の大運動会。



楽しいバスハイクと買い物ツアー。



地域コミュニティ（アカデ美和）での金管五重奏団コンサートの鑑賞に行きました。



冬の献立、お一人おひとり熱々のうどんすきを楽しみます。



お茶会。緊張しながらも本格的なお抹茶を一服。

介護老人保健施設 楽 寿

介護老人保健施設楽寿は、病状安定期にある方、認知症で家庭での介護が難しい方等を対象に、医師による健康管理、リハビリテーション、レクリエーション、食事・入浴等の看護介護サービスなど、家庭での生活を可能にする為の各種サービスを提供します。楽寿の園高齢者総合福祉エリアの各施設、地域の行政、医療機関等との密接な連携により、お年寄りの状態に沿った適切な介護の調整を図ります。また、ご本人様やご家族様の相談に応じ、様々な情報を提供するとともに、退所後の万全なアフターケア体制を整えています。



通所リハビリテーション

◆生き活きとした在宅生活が維持できるよう支援しています

通所リハビリテーション（定員 40 名）では、施設で送迎を行い、居宅で介護を必要とする方が出来るだけ能力に応じ自立した日常生活が営めるように、ご利用者お一人おひとりの状態や目標に合わせたサービスを行います。理学療法士、作業療法士による個別リハビリテーションでは、ご利用者の身体機能に合わせたリハビリテーションプログラムを作成し、実施しています。

☆☆☆今回、通所リハビリテーションをご利用いただいているご利用者より感想を頂きましたので、ご紹介させていただきます。



リハビリ体操を行い、身体を動かし、身体機能の維持に努めています。



生け花クラブでは、季節の花々をアレンジし、素晴らしい作品が出来上がりました。

『ご利用者の声』



橋本英夫様

私は、平成 19 年 2 月より通所リハビリを利用しています。現在は、リハビリ職員による関節可動域訓練、温熱療法等を受けています。リハビリを続けることにより利用開始時にあった肩や手足の痛みがなくなり、快方に向かっていると思います。自宅でも出来る範囲で運動を行うよう努力しています。もっとスムーズに歩けるようになることが目標です。今後も頑張っ

て取り組んでいきたいと思っています。



利用料金について

例えば… 要介護 3 の人が介護老人保健施設楽寿に入所した場合、1 ヶ月の自己負担の目安は国の制度に基づきおよそ次のとおりです。 ※この他、日常生活費（実費）が必要です。

◎多床室を利用した場合

利用者負担段階	施設サービス費の1割	居 住 費	食 費	合 計
2	29,190	10,000	12,000	51,190
3	29,190	10,000	20,000	59,190
4	29,190	10,000	43,000	82,190

※ 介護保険自己負担分には、基本サービス料、夜勤職員配置加算、サービス提供体制加算、栄養マネジメント加算が含まれています。

※ 所得の低い方については、利用者負担段階に応じた「負担限度額」が定められており、居住費・食事の負担が軽減されます。

◎従来型個室を利用した場合

利用者負担段階	施設サービス費の1割	居 住 費	食 費	合 計
2	26,820	15,000	12,000	53,820
3	26,820	40,000	20,000	86,820
4	26,820	50,000	43,000	119,820

※ 二人部屋、個室を希望される場合、室料をお支払い頂きます。

※ 短期集中リハビリ実施加算（1 日につき）240 単位（入所日から起算して 3 ヶ月以内）

楽寿の園 デイサービスセンター



定員 30 名のデイサービスセンターです。常勤の理学療法士を中心に、身体機能や体力の維持、改善に重点を置き、個々の機能に合わせた機能訓練を提供しています。また、生活意欲を高める目的で、陶芸教室や水墨画教室、民謡教室など、ボランティアの方々による教室にも参加して頂けます。



今後も健康寿命の延長を最大の目的とし、楽しいサービスを提供していきます。

レッドコードを使用したスリングセラピーです。高齢者の方にも優しいバランス訓練を行っています。

第2 美和の家・第3 美和の家

第2 美和の家と第3 美和の家は少人数の認知症対応型デイサービスです。

第2 美和の家は定員 10 名で、主に活動的な方を対象としています。ご利用者同士の交流を大切に、「笑って帰って頂く」をモットーにお一人おひとりに合ったプログラムを提供しています。

第3 美和の家は定員 12 名で、歩行の出来る方、車椅子の方など、色々な身体状態の方が利用されています。機械浴（寝浴）が有り、寝たきりの方でも安心して入浴して頂くことが出来ます。レクリエーションや日常生活のリハビリにも力を入れておりご利用者の残存機能の維持回復を目指して日々取り組んでいます。



玉入れゲームのレクリエーション。楽しみながら身体機能の維持も目指しています。

グループホーム らくじゅの家

定員 6 名の「らくじゅの家」は、少人数ならではの温かい和やかな家庭的雰囲気の特長としています。ご利用者様がご家庭で生活されていた時と同じように、ご家族、ご友人、地域との交流を持ち、それぞれの力に応じた役割や、趣味を活かした余暇を楽しみながら共同生活を送ることが出来るように支援しています。

食事の支度、洗濯物の片付けなど日々の家事や、季節毎に行う梅干しや味噌などの保存食作りと、職員と共にご利用者の力を発揮して頂く場面が多くあります。

また、音楽療法、音楽教室など歌に触れ合う時間、買い物やドライブ、地域行事への参加など、穏やかな生活の中にも楽しみや喜びが多くあります。



ぶどう狩りにて。大粒のぶどうを手に笑顔がこぼれます。

訪問介護・居宅介護・同行援護

介護保険の訪問介護サービスとして、食事・入浴・排泄・おむつ交換・外出援助等の身体介護と、掃除・調理・買い物代行等の生活援助を行っています。障害者福祉サービスの居宅介護サービス（身体介護・家事援助）や視覚障害者の同行援護サービス（外出援助）も実施しています。

ご利用者の城であるご自宅でのサービスですので、信頼関係を大切に、安心感を持って頂けるようご利用者の気持ちに寄り添った援助に努めています。在宅生活を生き生きと楽しく過ごせるよう、一緒に行い工夫する自立の援助を目指します。



訪問介護の一場面。ご利用者と一緒に楽しく掃除をしています。

足久保ケアサポートセンター 楽寿

運動器機能向上事業（静岡市委託事業）

運動器機能向上事業は介護保険で要介護認定を受けていない65歳以上の方を対象に行われる事業です。

楽寿会ではこの事業を静岡市から委託を受け「足久保ケアサポートセンター楽寿」にて「自分らしく、いきいきと普段の生活を楽しんで頂く」ことを目的に開催して、今年で7年目を迎えました。毎回看護師による健康チェックを始めとし、「しぞ〜かでん伝体操」を中心に、「口腔体操」「指体操」「豆知識」の固定プログラムに加え、楽寿会独自のプログラムを『看護師』『理学療法士』『作業療法士』『管理栄養士』『歯科衛生士』『音楽療法士』などの専門職が各々の専門性を活かした方法で展開し、皆様の心身の健康のサポートをしています。

私達が各々の専門性を生かしてご利用者の健康に少しでも役立ちたいと思います。



デイサービスセンター 足久保らくじゅの家

定員12名の地域密着型デイサービスとして、認知症で在宅介護を受けている方を対象に、食事、入浴、個別機能訓練等のサービスを提供します。

また、園庭の散歩、頭や体を使ったレクリエーション、施設の畑での野菜作り、収穫した野菜を使った季節感のあるおやつ作りを行い、皆様に楽しんで頂いています。その他にも様々なプログラムを用意して皆様をお待ちしています。

デイサービスセンター足久保らくじゅの家では“住み慣れた場所での安心した生活”をモットーに、ご利用者様お一人おひとりが笑顔に溢れ、いきいきとした毎日を送れるように努めています。



日当たりの良いデイルームで専門のリハビリ職員によるリング体操。皆様真剣に取り組まれています。

グループホーム 足久保らくじゅの家

9名のご利用者が家庭的な雰囲気の中、ご家族や地域の方に支えられ、職員に寄り添われながら、生き活きとした楽しい共同生活を送っています。

食事の支度や洗濯物たたみ等日常のお手伝いはもちろん、梅干し作り、味噌作り、干し柿作り等の季節毎の活動、ドライブや買い物、外食、ぶどう狩り等の多くの外出機会があり、楽しみのある毎日です。

地域行事にも積極的に参加し、良好な交流を図ることで住み慣れた地域での普通の暮らしが提供出来るよう支援に努めております。



毎年、りんごジャムを作っています。手作りの味は格別で、美味しいと好評です。

静岡市葵区美和地域包括支援センター・静岡市葵区賤機地域包括支援センター

高齢者のみなさんが、住み慣れた地域でいつまでも安心して生活出来るように、介護・福祉・医療・健康など様々な面から総合的に支えるために設けられました。『社会福祉士』『主任ケアマネジャー』『保健師または看護師』3職種がお互いに連携をとりながら、様々な相談に応じます。高齢者を支え、自分らしく生活するための権利を守るため、様々な相談に迅速に対応しておりますので、いつでもご相談ください。

地域包括支援センターの概要

	担 当 圏 域	連 絡 先
静岡市葵区美和地域包括支援センター	足久保、美和、安倍口、井宮、井宮北	〒421-2115 葵区与左衛門新田74-6 (楽寿の園高齢者総合福祉エリア内) TEL:054-296-1100 / FAX:054-296-9355 / E-mail:hokatsu_m@rakuju.or.jp
静岡市葵区賤機地域包括支援センター	梅ヶ島、大河内、玉川、松野、賤機北、賤機中、賤機南	〒421-0871 葵区昭府2丁目7-17 (静岡市北部保健福祉センター前) TEL:054-251-7772 / FAX:054-251-7773 / E-mail:hokatsu_s@rakuju.or.jp

口サービス提供時間：(月～金) 8:30～17:30、(土) 8:30～12:30 休日：日曜日、祝日、年末年始(12/31～1/3)
※休日および夜間については電話で対応いたします。(24時間連絡可能な体制をとっています)

各センターの主な活動実績

◆静岡市葵区美和地域包括支援センター (受託法人：社会福祉法人楽寿会)

主な地域活動の実施状況	《園域ケア会議の開催》担当圏域の各地区の特性、ニーズ把握を目的に、地区の関係者と連携を図っています。 《高齢者及び一般住民に向けて交流会開催》足久保奥組地区の高齢者及び地域住民へ向け交流会を開催。介護予防の啓発と地域包括支援センターの紹介、音楽療法を実施。(平成24年11月27日・口長島公民館/平成24年12月5日・谷沢公民館/平成25年1月24日・相沢公民館/平成25年11月21日/奥長島公民館で開催予定) 《認知症相談の開催》臨床心理士を招き、認知症または認知症を疑われる方やそのご家族の相談を受け、心理検査を通し「認知症のレベル」をはかり、対応方法の助言や必要時には医療機関へ紹介を行っています。(平成18年より毎月実施)
その他の地域活動への参加状況	・美和地区、北部地区の民生委員児童委員協議会定例会出席(隔月) ・グループホームらくじゅの家、足久保らくじゅの家運営推進会議出席(隔月) ・足久保地区(平成25年4月)・安倍口地区(5月)社会福祉推進協議会総会出席 ・井宮地区社会福祉推進協議会主催のふれあいのつどいにて介護予防の啓発と地域包括支援センターの紹介を行う。(平成25年2月) ・井宮北地区社会福祉推進協議会主催の介護保険出前講座にて地域包括支援センターの紹介を行う。(平成25年2月) ・足久保老人会芦寿会総会に出席し、介護予防の啓発と地域包括支援センターの紹介を行う。(平成25年4月) ・美和地区社会福祉推進協議会主催のふれあい活動に相談コーナーを開設。(平成25年6月) ・北部保健福祉センター地域支援連携会議出席(平成25年6月) ・あべぐちサロン、ふれあいの会あしほ、内宮サロン、松富地ふれあいサロン、美すゞ会、井宮北にこにこ会、桜町いきいき健康交流会(毎月)、美川町健康交流会(隔月)へ参加。足久保口長島健康交流会(平成25年9月)、栗島健康交流会(平成25年10月)に参加。足久保団地健康交流会(平成25年12月)に参加予定。 ・こころと物忘れ外来連絡会参加(随時)

◆静岡市葵区賤機地域包括支援センター (受託法人：社会福祉法人楽寿会)

主な地域活動の実施状況	《鯨ヶ池出張相談会の開催》鯨ヶ池老人福祉センターにて出張相談会を実施(平成25年5・7・11・1月)地域包括支援センターの紹介、介護保険や高齢者全般に関する相談を受けている。 《口坂本地区元気はつらつ講座の開催》地域包括支援センターの紹介、健康教育に関する介護予防講座を実施。(平成25年10月) 《梅ヶ島地区介護予防講座の開催》(静岡市梅ヶ島高齢者生活福祉センターと共同で介護予防講座を開催) 転倒予防講座(平成25年7月)・認知症ミニ講演会(10月)・認知症サポーター講座(12月)を開催。 《過疎地域の戸別訪問》奥仙保、口仙保地区へ戸別訪問を実施。
その他の地域活動への参加状況	・賤機地区、安倍地区の民生委員児童委員協議会定例会出席(隔月) ・賤機北(平成25年5月)・賤機南(6月)・玉川(7月)地区社会福祉推進協議会総会出席 ・北部保健福祉センター地域支援連携会議出席(平成25年6月) ・圏域内グループホーム運営推進会議出席(平成25年4・8・9・10月) ・圏域内の健康交流会参加 ・こころと物忘れ外来連絡会参加(随時)

◆北部地域全体(美和、賤機地域)での活動

北部地域高齢者支援連絡会	北部地域における高齢者支援が円滑に実施出来るよう情報交換を行うとともに、定期的にサービス担当者会議を開催し、よりよい支援の実現を目指しています。支援がスムーズにいくように、圏域の医師や北部保健福祉センター、居宅介護支援事業所等と連携を図りながら行っています。(平成24年12月25日、平成25年8月27日に開催)
--------------	---



美和地区社会福祉推進協議会主催のふれあい活動に相談コーナーを開設。困り事、心配事等の相談を受け、住み慣れた地域で安心して暮らして頂ける様に支援しています。



静岡市梅ヶ島高齢者生活福祉センターにて介護予防講座を開催しました。リハビリの講師より、転倒予防の話を聞いたり、でん伝体操を行いました。

よりよいサービスを提供するために

研 修

◆施設内職員研修

職員教育委員会が中心となり、毎週1回、施設内職員研修を実施しています。全職員を対象に外部研修の伝達研修及び各種専門分野の研修を行い、処遇の向上、職員の資質向上と施設機能の充実や向上に努めています。また、外部講師を招いて講演や研修も随時行い、成果をあげています。

◆資格取得支援プロジェクト

職員の専門職としての質の向上を図るために、一人でも多くの職員が資格を取得して、より質の高いサービスの提供に繋げることが出来るように支援しております。これまでに介護福祉士121名、介護支援専門員41名が合格し活躍しております。今年度も介護福祉士に22名、介護支援専門員に18名の職員が受験に挑戦いたします。一人でも多くの職員が合格できるように、毎月勉強会やチェックテスト、模擬試験、ロールプレイなどを開催し資格取得に向けて活動しております。

◆新入職員研修

楽寿会では毎年3月に新入職員に対し、いち早く優れた職員になるべく、様々な分野の専門スタッフ、外部から招いた大学教授・講師の方々による専門性の高い新入職員研修を実施しています。本年も下記の通り新入職員研修を実施し、この研修を基盤として、現在、楽寿会の各事業所で新入職員が活躍中です。



元静岡福祉大学社会福祉学部教授で厚生労働省事業による「施設、事業所における高齢者虐待防止に関する調査研究事業」ワーキング委員会委員を務めた有馬良建理事長の講義「高齢者虐待防止法について」



昭和大学講師 大谷佳子先生による講義「対人援助とコミュニケーション」

平成25年度楽寿会新入職員研修日程表

■ は外部講師による研修

時間 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
3月21日 (木)	日程 説明 等	「これからの老人福祉のあり方」 有馬良建理事長		昼食・休憩	概要説明 職員心得 福利厚生 就業規則 総務部長 成嶋	社会 保険 関係 会計課長 高桑	安全 運転 規定 老健事務長 池ヶ谷	老人保健施設 管理者 (医師) 青木高久先生	施設防災 防災委員長 増井	
3月22日 (金)	「高齢者介護」 救急心得 血圧測定 緊急時対応 (看護師) 鈴木正子	健康診断 レントゲン 血圧検査 心電図 検尿	園歌の 練習 (音楽・福祉 部) 習明 地	昼食・休憩	居宅介護 支援センター 類 (ケアマネジャー) 打木	施設サービス 計画書の見方 (ケアマネジャー) 中西・澤井	個人情報 倫理法令遵守 総務部長 成嶋	看護実務 感染症予防 (看護師) 奥田	高齢者の リハビリ (理学療法士) 西家	
3月25日 (月)	施設見学 神谷・大原	ロールプレイ 有馬良建理事長 (介護福祉士) 岡本・土海・山本・増野		食事介助	昼食・休憩	介護技術Ⅰ 移乗・シーツ交換・排泄 他	(介護福祉士) 岡本・土海・山本・増野		食事介助	
3月26日 (火)	地域包括 支援センター (主任ケアマネジャー) 金森	「高齢者の口腔ケアについて」 県立大学短期大学部 歯科衛生士学科准教授 鈴木温子先生		食事介助	昼食・休憩	「認知症老人への対応」 (臨床心理士) 星野良一先生	介護職員が行う医療行為 看護実務ターミナルケア (看護師) 望月みち子	食事介助		
3月27日 (水)	介護技術Ⅱ 入浴・移乗 他	(介護福祉士) 岡本・土海・山本・増野		食事介助	昼食・休憩	「対人援助とコミュニケーション」 昭和大学 講師 大谷佳子先生		食事介助		
3月28日 (木)	カンファレンスと 事例検討 主任ヘルパー 土海	「栄養ケアマネジメント」 県立大学食品栄養科学部 教授 熊谷裕通先生		食事介助	昼食・休憩	介護技術Ⅲ 排泄・移乗 他 (介護福祉士) 岡本・土海・山本・増野	介護実務 事故防止 (介護福祉士) 岡本拓洋	食事介助		
3月29日 (金)	生活相談員業務 生活相談員 (社会福祉士) 神谷・大原	「インシデントレポートから 見たリスクマネジメント」 総統括責任者 (社会福祉士・精神保健福祉士) 有馬知良		食事介助	昼食・休憩	辞令交付式・職員会議 有馬良建理事長	各部署主任との 打ち合わせ (勤務・制服について)	食事介助		

充実した施設での生活

敬老週間行事

9月16日～20日の敬老週間では、敬老式典、敬老茶会、喫茶らくじゅなど様々な行事で敬老のお祝いをしました。

楽寿会では、毎年9月に老人福祉法で定められている趣旨に則り、高齢者福祉についての関心と理解を深め、ご利用者に対しご自身の生活向上に努める意欲を促すための様々な敬老行事を開催しています。

日本は世界でも有数の長寿国であります。楽寿会におきましても今年度、米寿の方が8名、100歳以上の方が11名いらっしゃいました。楽寿会敬老式典では、ご利用者やご家族様、地域の代表の方などにお集まり頂きまして敬老該当者の方を盛大にお祝いさせて頂きました。

敬老茶会やのど自慢大会、喫茶らくじゅにも大勢のご利用者に参加され、普段の生活とは違った雰囲気を楽しんでいらっしゃいました。

今後とも、ご利用者の皆様の健康には十分留意し、毎日を健やかに過ごして頂けるよう励んで参りたいと思います。



敬老式典で祝辞を述べる有馬良建理事長。式典にはご利用者、ご家族様含め400名以上の方が参加して下さい、100歳以上の方、米寿の方のお祝いなどを行いました。



毎年恒例ののど自慢大会を開催しました。この日に向け練習してきた成果を発揮され、皆様とても素敵な歌声を聴かせて下さいました。



職員対象に月に1回、礼儀作法の教育のひとつとして茶道教室を行っています。敬老茶会として日頃の成果をご利用者様にお披露目し、ご一服差し上げました。

慰問、行事

楽寿会では、年間を通じて様々な方々が慰問に訪れます。又、季節感を味わって頂く為、季節に応じた行事を開催しています。コミュニティホール楽寿にて行う全体行事、フロアー毎に行う行事、様々なレクリエーションや外出を企画して、皆様に楽しんで頂いています。



静岡県演奏家協会の皆様より、声楽や楽器演奏を披露して頂きました。美しい歌声や音色に、音楽の素晴らしさを心より感じる機会となりました。



昴学園の皆様には、舞踊や大正琴を披露して頂きました。最終演目では「キヨシのズンドコ節」をご利用者の皆様と一緒に踊り、大変盛り上がりしました。



1月には毎年恒例の新年のつどいを開催しました。だるま落としや羽根つき、甘酒などの正月行事を楽しみ、新春を祝いました。

静岡県主催
第2回 介護技術コンテスト最優秀賞受賞!

～ケアコン2013～



コンテストに出場した職員が有馬良建理事長に結果を報告しました



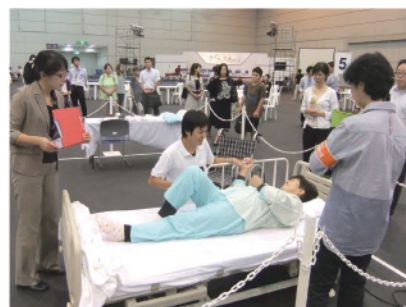
増野容子さんが受賞した最優秀賞トロフィー



ツインメッセで行われた第2回介護技術コンテスト



県福祉長寿局長より表彰を受ける増野容子さん



岡本拓洋さんの発表



芦澤理子さんの発表



増野容子さんの発表



楽寿会が全国に先駆けて平成8年に「心をかたち」をキャッチフレーズに行われた第1回処遇技術大会からの経験が輝く

～V2、輝く楽寿会の伝統とたゆまない介護技術の研鑽～

楽寿会では、17年前から、全国に先駆けて処遇技術大会を開催して参りました。この度、介護人材確保対策の一環として、静岡県主催の第2回介護技術コンテストが開催され、県内各地からプロの介護専門職が介護技術を競い合いました。楽寿会からもこれまで取り組んできた処遇技術大会の経験を生かし、3名の精鋭職員が競技に出場しました。その結果、増野容子さんが昨年の楽寿会職員、土海裕子さんの最優秀賞受賞に続き見事最優秀賞を受賞し、出場した皆さんと共に有馬良建理事長に報告を致しました。

楽寿会 職員紹介

楽寿会では高い専門性を持った介護、福祉のスペシャリストが一丸となって協働しています。ご利用者の皆様、ご家族の皆様に安心して施設を利用していただき心豊かな生活をお送りいただくため、専門スタッフが皆で連携を取りながら、より良いサービスの提供に努めています。その専門スタッフの中から、今回は4名の職員を紹介させていただきます。

	山田 実穂 平成23年採用、介護老人保健施設楽寿 支援相談員（社会福祉士）
	◆どなたが聞いても分かりやすく、丁寧な説明を心掛けております。 楽寿会に勤めさせていただき、現在3年目となっております。先輩方にご指導をしていただきながら、支援相談員として専門性を高めていけるように日々努力をしております。私がお利用者・ご家族と関わらせていただく際に常に心掛けている事は、「丁寧に誰にでも分かりやすい言葉でお話をさせていただく」ということです。私たち専門職にとっては使い慣れている言葉であっても、ご家族にとっては初めて聞く言葉も多くあるかと思いますが、自分自身の説明や受け答えはご家族にとって分かりやすく適切に出来ているのか、もっと分かりやすく説明が出来たのではないかと常に振り返るようにしております。そして、ご利用者・ご家族共に分からないことや不安な事があつたらいつでもお気軽に相談していただけるような関係づくりに今後も努めて参りたいと思います。
	芦澤 理子 平成18年採用、特別養護老人ホーム楽寿の園 4階フロア長代行（介護福祉士、介護支援専門員）
	◆ご利用者が快適に毎日をお過ごし頂けることを第一に考え、質の高いサービスを提供出来るよう努めています。 私が福祉の道を志し、短大の介護福祉学科を卒業後楽寿会に採用され8年目になります。現在は認知症対応のフロアに勤務しております。私は、高齢者福祉=自立支援と考え、ご利用者の言葉に耳を傾け、受容することを大切に心掛けてきました。経験を重ね日々忙しく仕事をする事により、その事を実行する難しさ大変さを実感することがありますが、細やかなコミュニケーションと常に笑顔で接することを大切にしています。ご利用者の笑顔の中で、充実した日々を送っています。今後ご利用者の事を第一に考え、生活の質の向上に努め、質の高いサービスが提供出来るように努めて参ります。
	植田 彩子 平成21年採用、特別養護老人ホーム楽寿の園 リハビリテーション（作業療法士）
	◆笑顔で安全に過ごして頂ける様、状態に合ったサービス提供を心掛けています。 リハビリテーションスタッフとして勤務させて頂き5年目になりました。1年目は、生活の場でのリハビリの在り方について考えさせられましたが、今ではリハビリを通して加齢や疾患に伴う身体機能、精神機能の低下を緩やかにし、出来る事を安全に続けて頂く事を目標に実施させて頂いております。またその中で、達成感や満足感を得て生き生きと過ごして頂ける時間となるよう努めております。ご利用者の中には機能低下に対する不安や悩みを抱えている方も多くいらっしゃいますので、お話を傾聴し、しっかりと状態を把握した上で少しでもお力になれるよう、適切なサービスの提供に努めて参ります。
	杉山るみこ 平成10年採用、介護老人保健施設楽寿 （薬剤師、介護支援専門員）
	◆薬剤師としての専門職に責任を持って日々努めております。 介護老人保健施設楽寿で薬剤師としてご利用者の定期・臨時処方薬の調剤業務に携わり、15年目になる事に感謝しています。それまで薬局や病院での調剤業務はあったのですが、高齢者施設での経験はありませんでした。しかし働きながら介護支援専門員の資格を取らせて頂いた事で、今では介護の仕事がどの様なものか理解出来るようになりました。調剤室でも多くと仕事をこなす時間が多く、直接ご利用者と接する専門職ではありませんが、ご利用者の方々とお会いした際には、心が通う笑顔を絶やさぬ様に心掛けています。

今後も皆で力を合わせ、より良い事業運営、サービスの質の向上を目指して参りたいと思います。

ご利用（家族・介護者）の皆様へ

●ご入所希望の方	介護老人福祉施設 楽寿の園 介護老人保健施設 楽寿 ケアハウス サンライフらくじゅ	TEL：054-296-1111 TEL：054-296-1112 TEL：054-296-1117
●在宅介護のご相談	地域包括支援センターへ	TEL：054-296-1100（美和） TEL：054-251-7772（賤機）
●居宅サービスご利用の方		
●ケアプラン作成希望の方	居宅介護支援センターへ	TEL：054-296-5555